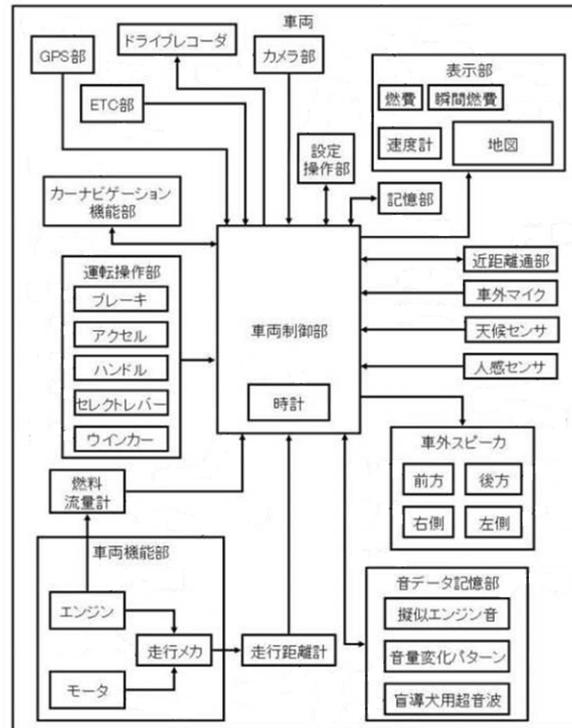


陸上輸送機械

静粛性とエンジン音の調和をとれるモータ駆動可能な車両

発明の名称	モータ駆動可能な車両		
出願人/権利人	NL技研株式会社、田中雅英	発明者	田中 雅英
出願日	平成29年5月1日	出願番号	2017-091485
公開番号	2017-128333	特許番号	6785420
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

静粛性と擬似エンジン音の付加という矛盾の調和をとったモータ駆動可能な車両

特徴

車両の動力源としてのモータと、車両外部への擬似エンジン音発生手段、および車両外部の外部条件信号を発生する外部条件信号発生手段、外部条件信号に基づきモータ回転中における擬似エンジン音発生手段からの擬似エンジン音発生の有無を制御する制御手段とを有するモータ駆動可能な車両である。モータ走行の静粛性とこれを犠牲にする擬似エンジン音による歩行者への告知との調和が図られる。人感センサの検知に基づき擬似エンジン音発生の有無を制御する仕組みである。ハイブリッド車または電気自動車等モータによる静粛走行が可能な車両に適用できる。

関連分野

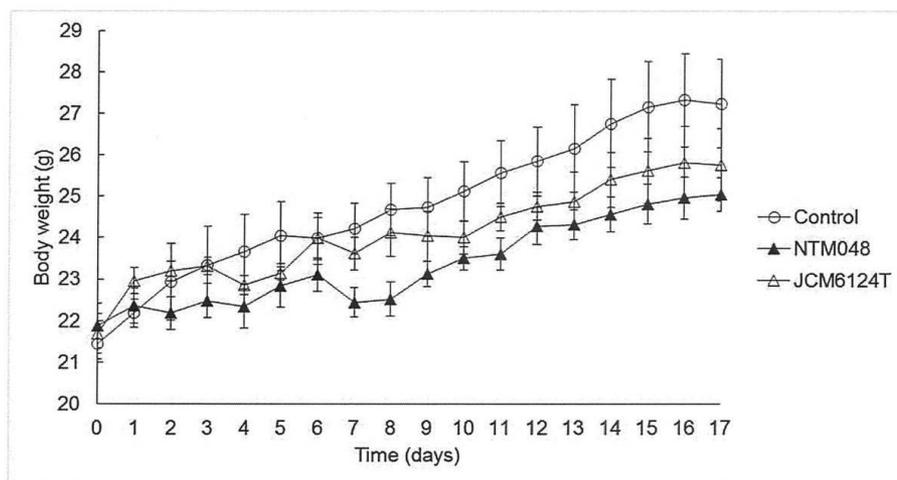
運輸サービス

ケミカル

代謝異常の予防・治療に活用できる組成物

発明の名称	ロイコノストック メセンテロイデスが産生する菌体外多糖を有効成分として含む代謝異常の予防または治療用組成物		
出願人/権利人	Noster株式会社	発明者	木村 郁夫、山本 憲二、久 景子
出願日	平成29年2月24日	出願番号	2018-501796
公開番号	WO2017/146213	特許番号	6785509
法的状態	登録中		

代表図



高脂肪食負荷マウスに
EPSを摂取させた際の体重の推移

発明の概要

代謝異常の予防または治療用組成物または腸管における短鎖脂肪酸量の増幅用組成物

特徴

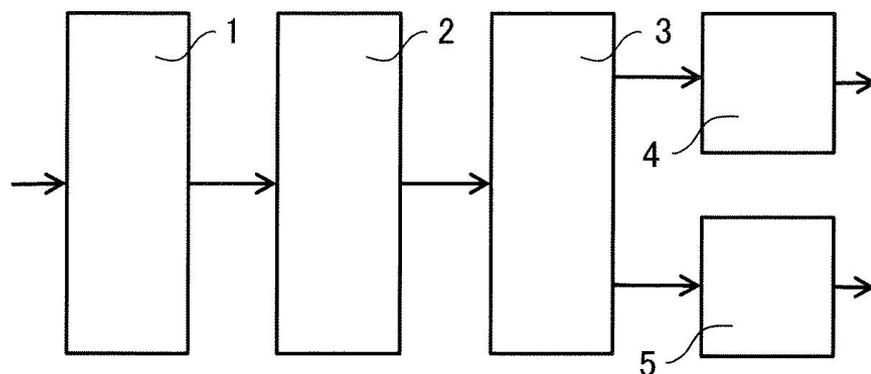
従来より簡便かつ効率的に腸管における短鎖脂肪酸量を増幅できる。ロイコノストック メセンテロイデスNTM048株又はその変異株が産生するエキソポリサッカライドを有効成分として含む、代謝異常の予防または治療用組成物である。肥満、糖尿病、耐糖能異常、高インスリン血症、脂質異常症、脂肪肝などの予防、治療用組成物、腸管における短鎖脂肪酸量の増幅用組成物または腸管におけるバクテロイデーテス門に属する細菌に対するフィルミクテス門に属する細菌の割合を低下させる。例えば、医薬品、食品、飼料等として使用できる。

関連分野

飲食、医薬、医療・保健衛生

発明の名称	超音波式血流情報判別装置		
出願人/権利人	橋本電子工業株式会社	発明者	橋本 正敏、櫛井 昭久、中村 昌寛
出願日	令和1年8月27日	出願番号	2019-154405
公開番号	—	特許番号	6787607
法的状態	登録中		

代表図



- 1 受信部
- 2 アナライザ
- 3 特定信号抽出部
- 4 異物判定部
- 5 血流波形判定部

発明の概要

利便性及び判定精度に優れた循環器情報判別装置、特に超音波式血流情報判別装置

特徴

ドップラー効果を利用する超音波式血流情報判別装置である。血管内の血流から反射された超音波反射信号から抽出された血流速度の波形に心臓の不整脈の有無を判定する。不整脈はいわゆる頻脈を含む。不整脈判定法は、超音波式不整脈判定法と呼ばれる。心電波形を用いる従来の不整脈判定と比べて筋電圧等の雑音電圧の影響を受けないため、被測定者の動きを制限する必要が無く、長期にわたって継続的に不整脈をモニターできる。面倒な心電波形採取を省略でき、さらに簡素なホールド装置により不整脈及び微小栓子の同時監視システムを実現できる。

発明の名称	ガス分離膜		
出願人/権利人	次世代型膜モジュール技術研究組合	発明者	藤田 明士、浅野 修司、金島 琢真、服部 勇作
出願日	平成28年3月24日	出願番号	2016-060192
公開番号	2017-170353	特許番号	6779642
法的状態	登録中		

代表図(図面なし)

【請求項1】

カルボキシル基を有する非架橋ビニルアルコール系共重合体(A)、及びアルカリ金属化合物(B)を含む樹脂組成物から構成されるガス分離膜であって、

該共重合体(A)は、カルボキシル基を有する単量体単位及びビニルアルコール系単量体単位から構成されるブロック又はグラフト共重合体であり、

該ガス分離膜はさらに支持膜を備え、前記樹脂組成物が該支持膜に担持されている、

ここで該支持膜は、ポリスルホン、ポリエーテルスルホン、ポリアミド、ポリイミド、ポリアクリロニトリル、ポリスチレン、ポリフッ化ビニリデン、ポリ塩化ビニルまたはポリメタクリル酸メチルを含む多孔性の高分子膜である、

ガス分離膜。

発明の概要

二酸化炭素を混合ガスから分離する際の二酸化炭素選択性に優れるガス分離膜

特徴

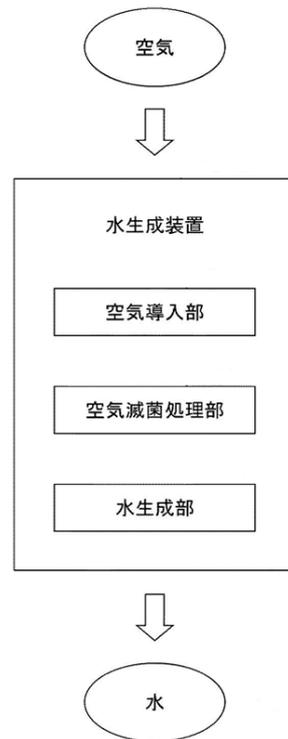
水蒸気が含まれる混合ガスを一定の圧力差を有する環境下で分離するにあたり、高圧下においても、二酸化炭素の膜透過速度及び二酸化炭素選択性が一層向上されたガス分離膜である。カルボキシル基を有する非架橋ビニルアルコール系共重合体、アルカリ金属化合物を含む樹脂組成物から構成される。ガス分離膜は、混合ガス、特に水蒸気が含まれる混合ガスから、特定のガス種、特に二酸化炭素を高圧条件にて選択的に分離する性能が優れ、二酸化炭素透過速度が高く、石炭ガス化により産生される水性シフトガス・天然ガスからの二酸化炭素の分離などにおいて有用である。

業務用機械

空気中から高純度で安全な水を生成する方法

発明の名称	水生成方法		
出願人/権利人	株式会社創建	発明者	吉村 直巳、吉村 孝文、金谷 年展
出願日	令和2年6月3日	出願番号	2020-096736
公開番号	—	特許番号	6782045
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

空気から高純度の水を生成できる水生成装置及び水生成方法

特徴

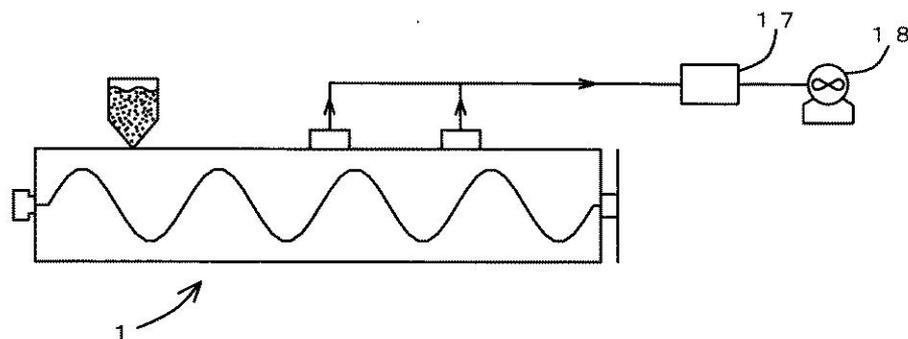
空気から水を生成する水生成装置であって、空気を導入する空気導入部と、そこから導入された導入空気を滅菌処理する空気滅菌処理部と、空気滅菌処理部において滅菌された滅菌処理済空気中の水分を結露させて結露水を生成する水生成部を備える水生成装置である。結露水中に導入空気中のウイルス等が混入することを防いで、空気から高純度で安全性の高い水を生成できる。空気滅菌処理部は、有機物を、水と二酸化炭素とに分解する有機物分解部を含んでおり、より確実に結露水中にウイルスが混入することを防いで、より高純度で安全性の高い水を生成できる。

関連分野

その他製造、建設・土木、医療・保健衛生

発明の名称	PET樹脂の発泡方法		
出願人/権利人	中本パックス株式会社	発明者	山浦 大樹、清水 香織
出願日	令和1年5月7日	出願番号	2019-087655
公開番号	2020-183470	特許番号	6752328
法的状態	登録中		

代表図



- 1 押出機
17 コンデンサー
18 真空ポンプ

発明の概要

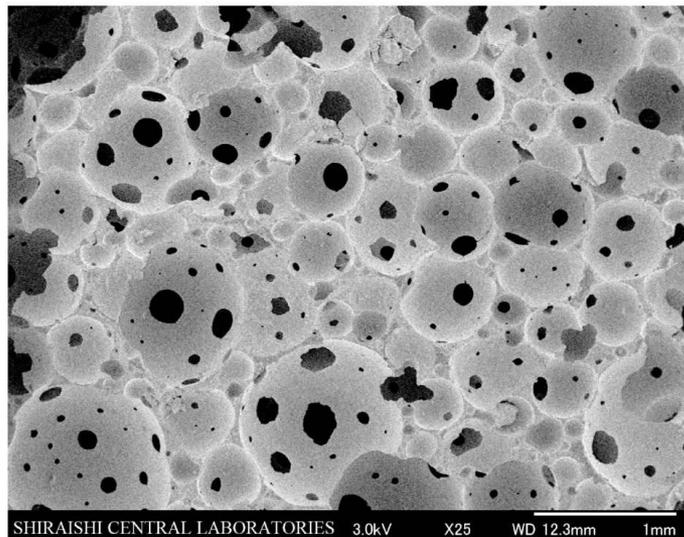
断熱カップ、破ビン防止包装材料等に用いられるPET樹脂発泡体の発泡方法

特徴

断熱カップ、破ビン防止包装材料等に用いられるPET樹脂発泡体の発泡方法である。窒素ガス又は炭酸ガスの超臨界発泡方法における発泡核剤として、炭酸水素ナトリウム又は炭酸ナトリウムと有機酸とを反応させて有機酸の金属塩を生成させ、その金属塩を発泡核剤として用いる。安全性、衛生性、爆発の危険性、オゾン層の破壊等において問題が無く、しかも、微細な気泡セルを均一に形成できる利点がある。発泡体は、断熱性やクッション性に優れているので多方面に利用でき、断熱カップ、破ビン防止包装材料、果物の包装材料、自動車の天井やドア内面材等に広く活用できる。

発明の名称	炭酸カルシウム多孔質焼結体の製造方法		
出願人/権利人	株式会社白石中央研究所	発明者	田近 正彦、梅本 奨大、島井 駿蔵
出願日	平成29年2月27日	出願番号	2017-035244
公開番号	2018-140890	特許番号	6779435
法的状態	登録中		

代表図



炭酸カルシウム多孔質焼結体を示す
走査型電子顕微鏡写真(倍率25倍)

発明の概要

ゲル化した発泡体を焼結して炭酸カルシウム多孔質焼結体を簡易に製造する方法

特徴

人工真珠の成長核や生体用途などへの応用が期待される炭酸カルシウム多孔質焼結体の製造方法である。炭酸カルシウムとゲル化剤を含む分散液を調製する工程と、分散液に発泡剤を添加した後攪拌して泡立て、発泡体を作製する工程と、発泡体をゲル化する工程と、ゲル化した発泡体を焼結することにより、炭酸カルシウム多孔質焼結体を製造する工程とを備える。本発明においては、仮焼結した後、本焼結することが好ましく、発泡体中に含まれている有機分が残存、炭化して黒ずんだり、有機分が急激に分解を起こすことで、焼結体にヒビの発生を防げる。